

JAIST フェスティバル 2014 の報告

但馬 陽一

大学院教育イニシアティブセンター ICTユニット

1 概要

1.1 企画概要

本学主催の「JAIST フェスティバル 2014」にて行われた特別講演。

会場は小ホールであるが見学は招待された中学生などに限られており、一般の見学者用にビデオ会議システムを使用して大講義室に映像・音声を同時配信した。また用務で直接会場に来れない学生・教職員のために学内限定でインターネット配信を行った。

スケジュール:

日時： 2014 年 10 月 11 日(土)

場所： 北陸先端科学技術大学院大学 小ホール, 大講義室

講師： 数学者 秋山 仁

1.2 業務内容

技術職員が携わった業務は以下の通りであった。

- 1) 事前打ち合わせ
- 2) 機器の構成・レイアウトおよび事前テスト
- 3) 設営ライブ配信(テレビ会議・学内インターネット配信)

2 業務の詳細

2.1 事前打ち合わせ

依頼元の総務課総務係と打ち合わせを行った。

事前に連絡があったセカンド会場である大講義室への配信と学内インターネット配信の他、以下の事項が追加された。

- 1) 講師は PC による資料説明は行わない。
- 2) 実験を伴う講演であり手元を映すビデオカメラを用意して、小ホールのプロジェクタに映しつつ大講義室等にも配信する。
- 3) 講師の意向で録画は行わない。

以上を踏まえ機器の選定・構成を行った。

2.2 機器の構成・レイアウトおよび事前テスト

大講義室の配信には既設のテレビ会議システムにて配信することにした。

学内インターネット配信には Mediasite 端末を持ち込み動画配信サーバー経由で行うことにした。

また、講師が PC による資料説明を行わないことからテレビ会議システムおよび Mediasite 端末にアップコンバータ経由で手元を映すビデオカメラの動画を取り込むことにした。

以上を踏まえ当センターにある機材の選定と人員配置を図面に起こし情報を共有した。

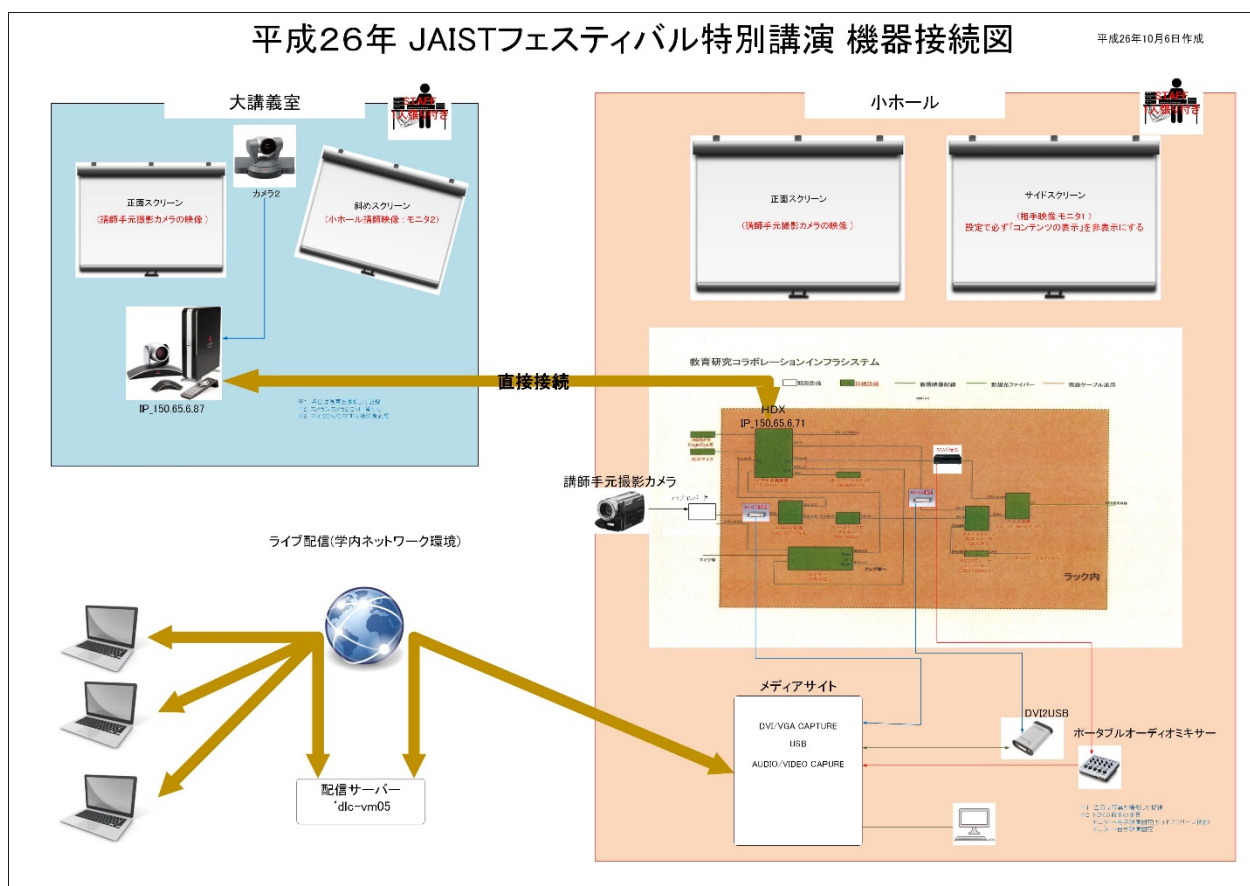


図 1. JAIST フェスティバル 2014 特別講演 機器接続図

2.3 設営ライブ配信(テレビ会議・学内インターネット配信)

接続図の通り設営を行い、また人員も配置して配信を行った。

人員の作業内容はテレビ会議システムの状態監視、カメラワーク、音量調整などである。

小ホールでは講師の手元を映すカメラと操作員、学内インターネット配信機器と操作員を配置し、2面のプロジェクタ画面に講師の手元映像と大講義室の様子を映した。

大講義室では2面のプロジェクタ画面に講師の手元映像と小ホールの様子を映した。



図 2.メイン会場(小ホール)の様子



図 3.サブ会場(大講義室)の様子



図 4.学内インターネット配信機材

3 まとめ

本学では今回の様に会場を複数設け講演などを配信することが多々ある。また、離れた東京サテライトにも配信したい、後で見たいという要望が年に数回ある。

受講者が満足いくような画質・音質にこだわり機器を選定・購入し準備している。

機器展示会などに積極的に参加し今後の業務の参考にしたい。

参考文献

- [1] 大学院教育イニシアティブセンター ICT ユニット(旧 遠隔教育研究センター) Homepage
JAIST フェスティバルレポート(2014/10/11)
(http://dlc.jaist.ac.jp/enkaku/htdocs/?action=common_download_main&upload_id=955)